

里熊大橋の信号について

提案内容	里熊大橋の信号の件で、三刀屋方面から宍道方へ向かう信号を木次町部（右方向）へ向う信号の矢じるしを追加してほしい。 下から向って来る車が見えにくく右へ曲りづらく、先日も事故があったようで、願をしてほしいと思います。
回 答	<p>ご提案いただきありがとうございます。</p> <p>信号機を管轄する雲南警察署より、以下のとおり回答をいただきました。</p> <p>【雲南警察署交通課からの回答】</p> <p>ご要望の内容を拝見しますと、まず現場は、雲南市役所前の里熊大橋東詰交差点に設置してある信号機であると解釈いたしました。</p> <p>また、国道54号を三刀屋町方面から宍道町方面へ向かって進む車が、この信号交差点を右折して、木次駅やマルシェリーズ方面に曲がる際に、宍道町方面から進んでくる車が見えにくく右へ曲がりづらい、事故が発生しているため右折の矢印信号を設置してほしい、との要望だと理解いたしました。</p> <p>結論としましては、現段階で、右折矢印信号を設置する予定はございません。</p> <p>理由は以下のとおりですので、ご理解いただければ幸いです。</p> <p>ご要望にあるとおり、この交差点で交通事故が発生していることは、雲南警察署でも把握していますが、発生件数はごく少数です。</p> <p>また、信号機とそれに併設してある矢印信号は、交通事故防止という交通の安全のためはもちろんではありますが、もう一方で交通流を円滑にするためという目的で設置しているものです。</p> <p>そのため、信号機の設置には、交通量、時間による交通量の変化、交差道路との車の流れ、交差点の形状、前後の交差点とのバランス、などの要素を総合的に判断して運用の形を決めており、右左折の矢印信号は、右左折レーンの長さ、交差点内の形状、実際の右左折の需要、対向車線の車の流れなどの要素を踏まえて設置の可否を判断しています。</p> <p>実際に交差点の交通状況を調査いたしましたが、右折矢印信号を追加しなければ、円滑に右折ができないほどの右折需要や車の流れとは認められませんでした。</p> <p>また、交差点内に表示されている右折誘導ポケットをきちんと利用いただき、交差点中心の内側を通るという交通ルールを守っていただければ、対向車もしっかりと視界に入る環境であると考えており、現在の運用においても同所での交通事故の発生は少ないため、右折矢印信号を設置する必要性は現段階ではないものと判断しております。</p> <p>また、一方面からの信号機の運用変更をした場合、多方面からの交通状況へも影響を与えるため、運用の変更は、前述の要素の大きな変化に基づき実施してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(回答担当部署：防災部くらし安全室)</p>